

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	情報処理
科目基礎情報					
科目番号	0002		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	創造工学科(都市・環境系共通科目)		対象学年	2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	プリント配布				
担当教員	谷口 陽子, 加藤 晃				
到達目標					
1) Pythonの文法を理解し、プログラムのコード内容を理解することができる。 2) Pythonのデータ型を理解し、種々のデータ型を用いたプログラムを作成できる。 3) Pythonの制御文を用いて、簡単な繰り返し処理や選択肢をもつ問題を解くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
Pythonの文法について	Pythonの文法について明確に説明できる。	Pythonの文法について説明できる。	Pythonの文法について説明できない。		
Pythonのデータ型について	Pythonのデータ型について明確に説明できる。	Pythonのデータ型について説明できる。	Pythonのデータ型について説明できない。		
Pythonの制御文について	Pythonの制御文について明確に説明できる。	Pythonの制御文について説明できる。	Pythonの制御文について説明できない。		
Pythonの条件分岐と繰り返しについて	Pythonの条件分岐と繰り返しについて明確に説明できる。	Pythonの条件分岐と繰り返しについて説明できる。	Pythonの条件分岐と繰り返しについて説明できない。		
学科の到達目標項目との関係					
I 人間性 II 実践性 III 国際性					
教育方法等					
概要	本講義は、Python言語によるプログラミングを習得することを目的としている。				
授業の進め方・方法	情報処理センター設置の端末を使用した実習形式で授業を進める。成績は確認テストで50%、演習課題で50%の割合で評価する。合格点は60点以上である。				
注意点	授業で用いるスライドをPDFファイルとして配布する。評価は課題の割合が大きいため、適宜行われる課題に備えて、自学自習による復習は欠かせず行うこと。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業オリエンテーションとコンピュータを用いたデータ処理方法	演習、課題の提出方法や授業の進め方について理解する。また、同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知る。	
		2週	第1章.Python最初的一步(プログラミング環境の整備)	Pythonを利用するための環境を整備する。	
		3週	第1章.Python最初的一步(演算子計算と変数)	演算子や変数を使って計算ができる。	
		4週	第1章.Python最初的一步(関数とメソッド)	関数やメソッドの意味を理解し、コードを読むことができる。	
		5週	第2章.条件分岐(条件分岐とは?)	条件分岐の計算順序を理解できる。	
		6週	第2章.条件分岐(3段階以上の分岐)	3段階以上分岐する条件がある場合に対処するプログラムを作成することができる。	
		7週	第2章.条件分岐(複数の比較式の組み合わせ)	ブール演算子を使用できる。	
		8週	第3章.繰り返し文(繰り返し文とは?)	簡単な繰り返し文のプログラムを作成できる。	
	4thQ	9週	第3章.繰り返し文(リスト)	リストを活用したプログラムを作成できる。	
		10週	第3章.繰り返し文(条件式の組み合わせ)	複数の条件式を組み合わせるプログラムを作成できる。	
		11週	第4章.関数の作成(関数とは?)	簡単な関数を作成してプログラムを作成できる。	
		12週	第4章.関数の作成(関数の組み合わせ)	関数を複数組み合わせるプログラムを作成できる。	
		13週	第5章.ライブラリの使用	標準ライブラリのモジュールを利用したプログラムを作成できる。	
		14週	練習問題	これまでの学習した内容を活用したプログラムを作成することができる。	
		15週	練習問題	これまでの学習した内容を活用したプログラムを作成することができる。	
		16週			
評価割合					
		確認テスト	演習課題	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		25	10	35	
専門的能力		25	40	65	